

デザインストーン AW

施工要領書

適応下地

■ システム塀「アートウォール」

- ※「丸開口タイプ」「現場加工タイプ」「曲面パネル」「フリーコーナー」のアートウォールには施工できません。
- ※他の下地については最寄の営業所にご相談ください。

製品仕様

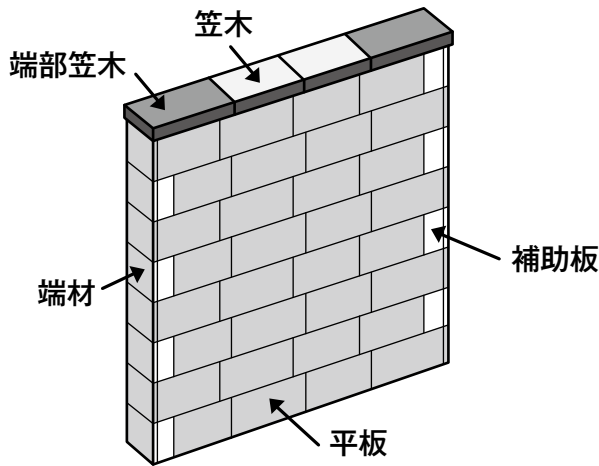
アートウォールパネルの巾(W910/W510)、厚み(60mm厚/120mm厚)によって使用する部材が異なります。

- パネル巾がW910の場合は商品名末尾が「25」、W510の場合は「30」の部材を使用してください。
 - パネル厚が60mm厚の場合は商品名末尾が「06」、120mm厚の場合は「12」の部材を使用してください。
- (例) 下地のパネルがW510、120mm厚の場合→「平板30」「端材12」「笠木30-12」「端部笠木30-12」を使用。

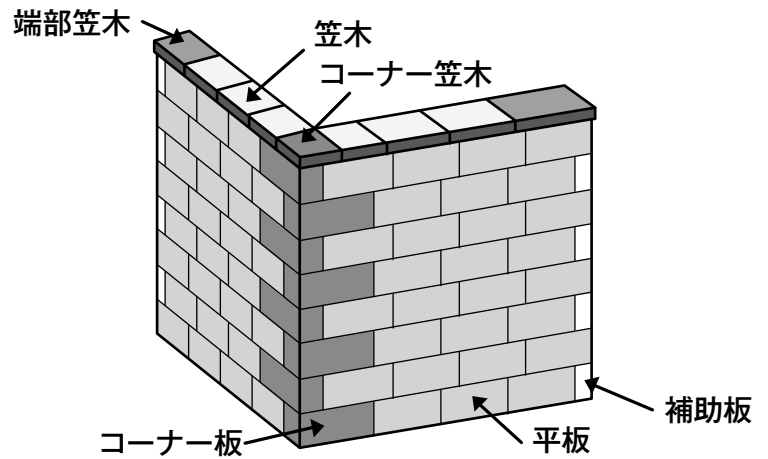
部位	アートウォール パネル巾	アートウォール厚み		色	サイズ[mm]	梱包数 /ケース	
		60mm厚	120mm厚				
平面	W910	平板25		ベージュ	250×150	8枚	
	W510	平板30			300×150	8枚	
	共通	補助板			60×150	10枚	
側面	共通	端材06	—		82×150	10枚	
		—	端材12		142×150	10枚	
コーナー	W910	コーナー板25			62×252×150	8枚	
	W510	コーナー板30			62×302×150	8枚	
天端	W910	笠木25-06	—		錆みかげ	100×250×20	2枚
		端部笠木25-06	—			100×300×20	2枚
		—	笠木25-12			160×250×20	2枚
		—	端部笠木25-12	160×300×20		2枚	
	W510	笠木30-06	—	100×300×20		2枚	
		端部笠木30-06	—	100×350×20		2枚	
		—	笠木30-12	160×300×20		2枚	
		—	端部笠木30-12	160×350×20		2枚	
	共通	コーナー笠木06	—	100×100×20		1枚	
		—	コーナー笠木12	160×160×20		1枚	
AW固定金具		—	—	黒	40×40×6	20枚	
AW接着剤		—	—	ダークグレー	2kg/本	9本	

- ※「コーナー板」「コーナー笠木」は、90° 連結時のみ使用します。
- ※天端の中間部に「笠木」を、両端に「端部笠木」を使用してください。
- ※「笠木」は小口2面を、「端部笠木」は小口3面を研磨処理しています。
- ※石板のカットが必要な場合はグラインダー等でカットしてください。

割付方法

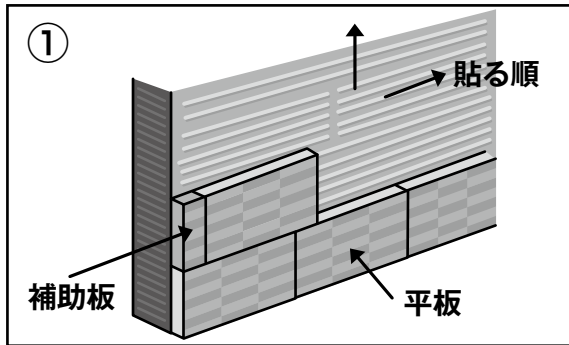


【平面アートウォール 割付例】



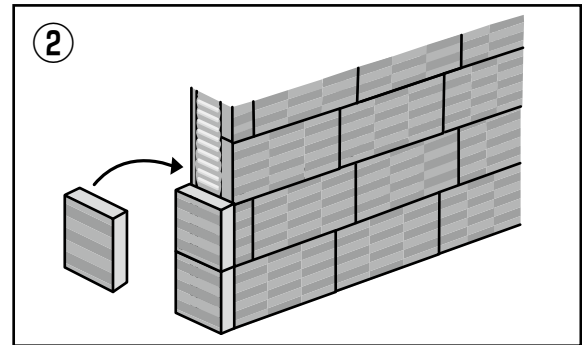
【90°連結アートウォール 割付例】

施工手順



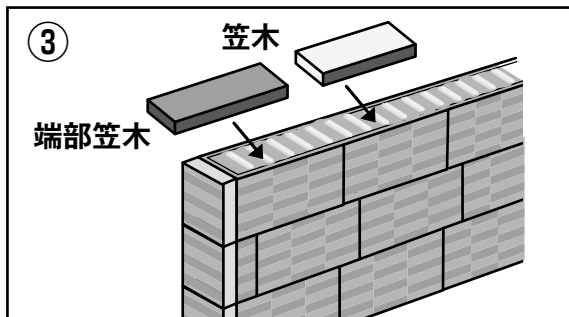
①「平板」貼付け

下段から上段へと貼付けていきます。「AW接着剤」を楯目鋸で2mm厚で塗付した後、直ちに(30分以内)平板を貼付けます。各段に補助板を使用し、目地が交差しないようにしてください。



②「端材」貼付け

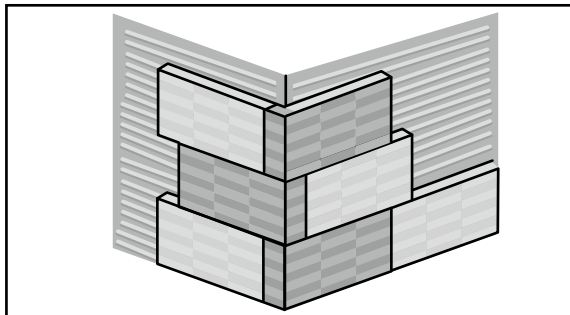
平板貼付け完了後、「端材」を下段から上段へと貼付けていきます。



③「笠木」貼付け

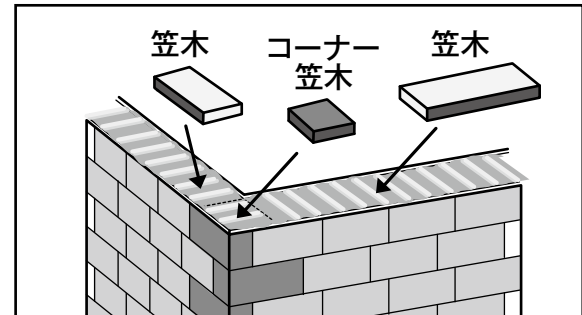
中間部には「笠木」(小口2面研磨処理)、両端部には「端部笠木」(小口3面研磨処理)を貼付けます。「端部笠木」は研磨処理面が外向きになるように貼付けてください。

※「コーナー板」貼付け方(90°連結時のみ)



下段から上段へと貼付けていきます。長い面と短い面が交互になるように貼付けます。

※「コーナー笠木」貼付け方(90°連結時のみ)



コーナー部分に「コーナー笠木」を貼付けます。研磨処理面が外向きになるように貼付けてください。

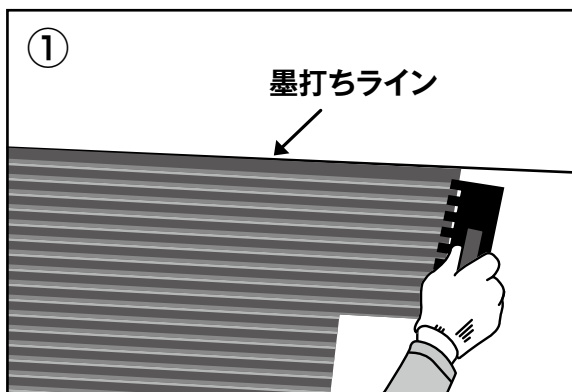
AW 固定金具の使用方法

■ 設置条件

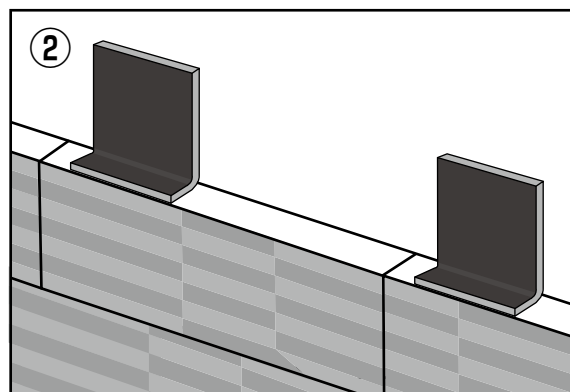
- A : 「アートウォール」の高さがH1800mmを超える場合、全高の中間位置に設置する
- B : 外壁等でH3000mmを超える場合、高さ1500mm間隔に設置する
- C : 下に受けが無い場合

■ 使用方法

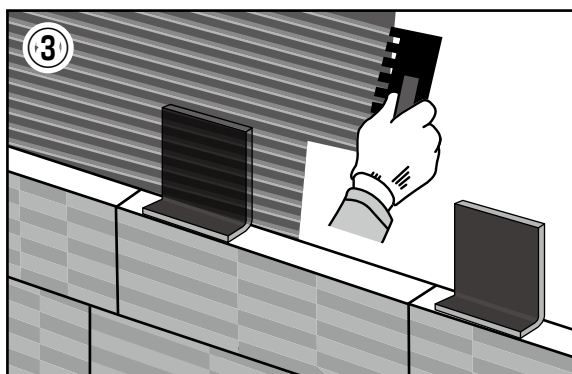
[条件A、Bの場合]



① 「AW固定金具」を設置する位置に墨打ちし、墨打ちラインの下まで「AW接着剤」を塗付します。

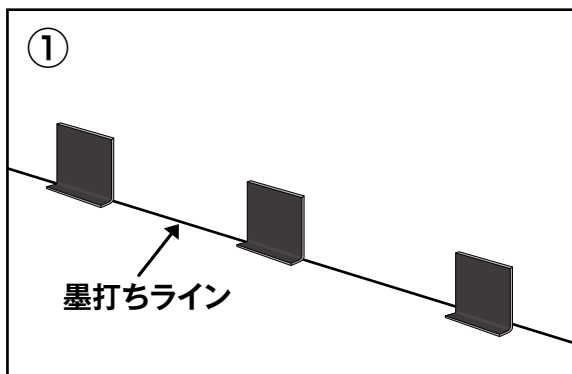


② 「デザインストーンAW」を貼付けた後、石板1枚につき「AW固定金具」1個ずつ取り付けます。市販の瞬間接着剤で接着してください。

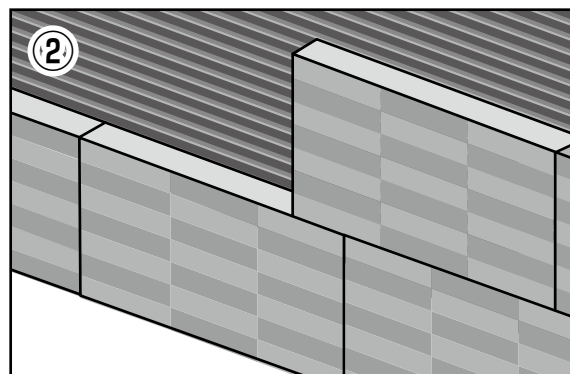


③ 固定金具硬化後、更に上段へと「デザインストーンAW」を接着していきます。

[条件Cの場合]

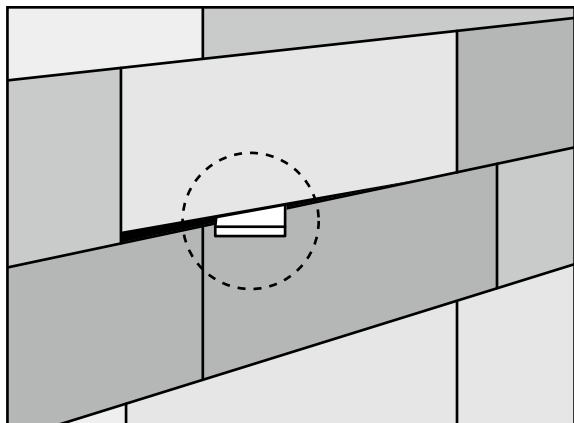


① 「デザインストーンAW」を貼付ける位置に墨打ちし、石板1枚につき「AW固定金具」1個を取り付けます。市販の瞬間接着剤で接着してください。



② 固定金具硬化後、「AW接着剤」を塗付し、「デザインストーンAW」を貼付けていきます。

【 石板のズレ調整 】



天然石のため、石板寸法に若干の幅があります。
施工時に石板のズレが発生した場合は、アクリル片
(又は厚紙、PPバンド、爪楊枝など)を差し込むなど
してズレを調整してください。
接着剤硬化後に除去してください。

注意事項

製品の特製を十分にご理解いただき、正しくご使用いただくために、次の事項にご注意願います。

【施工上の注意】

- 5℃以下での施工は避けてください。
- 接着剤は専用のものを使用してください。他の接着剤についてはご相談ください。
- 石板は下地にもみこむように入念に貼付けますが、接着状況を確認するため、適時石板をはがして接着状況を確認してください。
- 貼付け完了後、夏期で一昼夜、冬期で二昼夜を目安に養生してください。

【製品の注意】

- 石板のカットが必要な場合は、グラインダー等で切断してください。
- 天然石のため、色調・寸法・重量・模様幅に幅があります。
- 天然石のため、錆の発生、白いコスレ、経時による変色・退色の可能性があります。
- 酸性に弱いため、酸性洗剤等での洗浄はしないでください。
- 運搬の際の取り扱いによって、石材に割れ・剥がれが生じる場合がありますので、取り扱いにはご注意ください。

【セメントモルタル下地への施工について】

- 新しいセメントモルタル下地の場合、夏期14日以上、冬期21日以上乾燥させて養生し、含水率10%未満、pH10以下の状態で施工してください。
- 表面についている汚れや藻、カビ、エフロレッセンス(白華)等はブラシやサンドペーパーで除去し、水洗いした後によく乾燥させておいてください。
- 下地に不陸や段違いがある場合は、サンダー等で平らに調整した後、洗浄と乾燥を行っておいてください。
- 下地にクラックやピンホールなどがある場合、「SKカチオンプラスター弾性タイプ」(別売)等の合成樹脂入りセメントモルタルで全面補修した後、所定期間養生しておいてください。
- 下地が濡れている場合や、補修した下地は十分に乾燥させておいてください。

四国化成建材株式会社